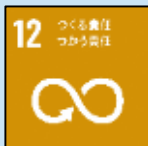


子供たちの手で！書道紙リサイクルプロジェクト (一般社団法人エコ再生紙振興会)

取組の概要

学校等の授業で出る使用済み書道紙を子供達の手により集め、それらを回収して『未来箋』に再生化、再び授業の中で子供たちの手に還していく資源循環型のリサイクル活動です。校内の書道紙ごみゼロは、各自治体のごみ問題にも貢献でき、ものを大切にする啓発にも寄与し、教科書にも掲載される活動に発展して、すでに全国に広がっています。

該当するSDGs目標 (3つまで)



12.つくる責任：使用後の書道紙を全回収



『未来箋』へ再生！



つかう責任：子供たちが授業で活用



【成果：校内のごみが教材に!!】

4.学校での生きた環境教育の教材にもなる
11.ごみ削減に子供たちが校内で参加する

取組を始めた動機・課題

古紙リサイクルにおいては、墨のついた書道紙は回収不可品の扱いで、そのほとんどが可燃ごみとなっていました。ごみ削減の現代社会で、書道文化が適応していく為には、書道紙の再生の仕組みが不可欠と考えました。神奈川全域の自治体への提案の停滞が課題です。

解決に向けた具体策と成果

「授業等で練習する書道紙はグレーではダメですか？」と教育機関に投げかけました。すると「環境に配慮したグレーならば可！」の多くの声から一気に広まりました。

取組による定量的な効果

神奈川西部地域 1市8町の全小中学校で『未来箋』の授業が実現。（実績12年：毎年約3トンのごみ削減と有効活用）

取組のポイント

次代への環境社会に根ざした書道文化の継承が主たる目的でしたが、環境教育の側面としても評価されています。